資料４

万博記念公園の存在意義について

【基本テーマ】　人類の進歩と調和

主題。人々に伝えたいこと。

【基本理念】　緑に包まれた文化公園

コンセプト。テーマを実現するための基本的な考え方のこと。

【目指すべき公園像】　緑と文化･スポーツを通じて人類の創造力の源泉である生命力と感性が磨かれる公園

ビジョン。理想とする、あるべき姿のこと。

【存在意義】※ボストンコンサルティンググループの定義による

パーパス。なぜ社会に存在するのか、という意義を問う　why　を結晶化したもののこと。

〔具体例〕

・クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす〔ソニー〕

・世界が進むチカラになる。〔三菱UFJFG〕

・スポーツを通じて世界を一つにし、健全な地球環境、活発なコミュニティ、そしてすべての人にとって平等なプレイングフィールドをつくり出す〔ナイキ〕

・ネスレは、創業者アンリ・ネスレの精神を受け継ぎ、栄養を中心としたネスレの価値観に導かれ、食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高める製品、サービス、知識を個人と家族の皆さまにお届けするためにパートナーとともに取り組みます〔ネスレ〕

・サステナビリティを暮らしの“あたりまえ”に〔ユニリーバ〕

（案）レガシーを継承するとともにその再生を図り、持続可能な未来に向かうコミュニケーションの場として、輝かしい多様性のうちに調和のある統一を世界に生み出す

→三木委員修正）EXPO’70のレガシー（精神と文化遺産）を継承するとともにその再生を図り、多様な人々や自然と共生する持続可能な未来に向かうコミュニケーションの場を生み出す。

→山田委員意見）公園の存在意義としては、オープンスペースというのが最大の存在効果。最大公約数的に多くの人が楽しむことができる、多層的な役割を果たす大きな緑の空間を核に、様々なスポーツ施設や商業施設があり、トータルとして、公園を中心に公園エリア全体のポテンシャルを高めていく。そういった形で設定してもらうと良いと思う。